

LUC BESSON

French filmmaker, screenwriter and producer

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Celebrities
- Creativity
- Entertainers
- Future
- Global
- Globalisation
- Innovation
- Media

Luc Bessonはフランスの映画監督、脚本家、プロデューサーです。

1977年にフランスとアメリカのアシスタントディレクターとして始めて、彼は徐々に非常に少数のフランスのディレクターと国際的な身長の生産者のうちの1人として現れました。

1983年Luc Bessonが彼の最初の作品であるThe Last Battleを監督し、それが彼にアヴォリアッツ祭で賞を受賞しました。 2年後、彼はIsabelle AdjaniとChristophe Lambertが主演するSubwayを作り、3人のCésar賞を受賞し、監督のシグネチャースタイルを確立しました。

Subwayの成功の後、彼はThe Big Blueをフォローしました。この映画は1988年のカンヌ映画祭ではあまり受け入れられなかったが、フランスで1000万人の入場者を獲得し続け、本格的な社会現象となった。不評なレビューにもかかわらず、観客はまた彼の次の2つの映画、フランスでの監督の人気を確認し、国際的な側面を付け加えたLa Femme Nikita1990とThe ProfessionalLeon1994を見に集まりました。

この2つの機能の間で、Luc Bessonは先駆的なドキュメンタリAtlantis1991を監督しました。そして、それはその20年前に、自然の美しさと環境保護の重大な問題の意識を高めました。

1995年Luc Bessonは野心的なSFプロジェクトThe Fifth Elementに取り組み始めました。これはアメリカのフランス映画の中で最大のヒット作品の1つとなり、1998年のCésar賞で最優秀監督賞を受賞しました。

1999年、彼は『メッセンジャJoan of Arcのストーリーの彼のバージョンを監督しました。それは彼にベストディレクターのための別のCésarノミネートを獲得しました。

2000年Luc Bessonは第53回カンヌフェスティバルの審査員長を務めるよう依頼され、これまでで最も若いカンヌ審査員会長になりました。

次の5年間はプロデューサーとしての彼の活動に本質的に捧げられました。 10年で、EuropaCorpはヨーロッパの映画館の最も重要なスタジオの1つになりました。

5年の歳月を経て、Luc Bessonは2005年にAngel-Aで監督復帰し、2006年には彼の最初のアニメーション映画ArthurとInvisiblesが同名の小説から改作されました。 2009年に、アーサーとマルタザの復讐が釈放され、2010年10月13日にフランスで釈放される予定で、アーサーと2つの世界の戦争によって三部作が完成するでしょう。

2010年Luc BessonはTardiのマンガシリーズAdele Blanc-Secの並外れた冒険を映画化し、Louise Bourgoinを主演させました。

ディレクターとしての経歴を通して、彼は特にSerge Gainsbourg

とMylèneFarmerのためのミュージックビデオ、そして一流の国際的なブランド名のためのコマーシャルを作りました。彼が監督した長編映画の他に、Luc Bessonはタクシーのフランチャイズ、そして最近ではアメリカで史上最大のフランスの総収入映画であるTakenを含む20以上の映画を書いて製作しました。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988